

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 12 号)

2022年 1月28日発行
 兵庫のみ研究所

前回 (1/21) 調査と同様に、海域全般に小型珪藻のキートセロスとスケルトネマ等が依然として確認されますが、発生量はやや減少していました。満潮時での調査ということもあり、窒素は明石海峡部からの海水の影響が見られる林崎漁場で概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 台、陸水等の影響が見られた地点を除き、魚住漁場以西で $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場内平均 9.5°C 。平年比 0.4°C 、昨年比 0.8°C 低い。(塩分) 平均 31.59psu 。前回 (31.55) より 0.04psu 高い。
 (栄養塩、珪藻) 海域全体として、小型珪藻の主体がスケルトネマからキートセロスに交代しており、発生量はやや減少している。海水 1mL あたり細胞数は、明石海峡部～林崎漁場で $100\sim 400$ 細胞 (前回値: $100\sim 800$ 細胞)、魚住漁場以西で $300\sim 900$ 細胞 (前回値: $1800\sim 2900$ 細胞)、伊保・白浜漁場で $900\sim 1300$ 細胞 (前回値 2200 細胞前後) であった。
 二見漁場の東地 (調査地点④) では、アンモニア態窒素の値が特異的に高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.5	9.5	9.9	10.3
窒素	0.9	1.8	3.6	2.7
リン	0.28	0.31	0.40	0.40

(1/21) ※窒素の平均は別府を除く
 ※窒素の平均は二見東地を除く

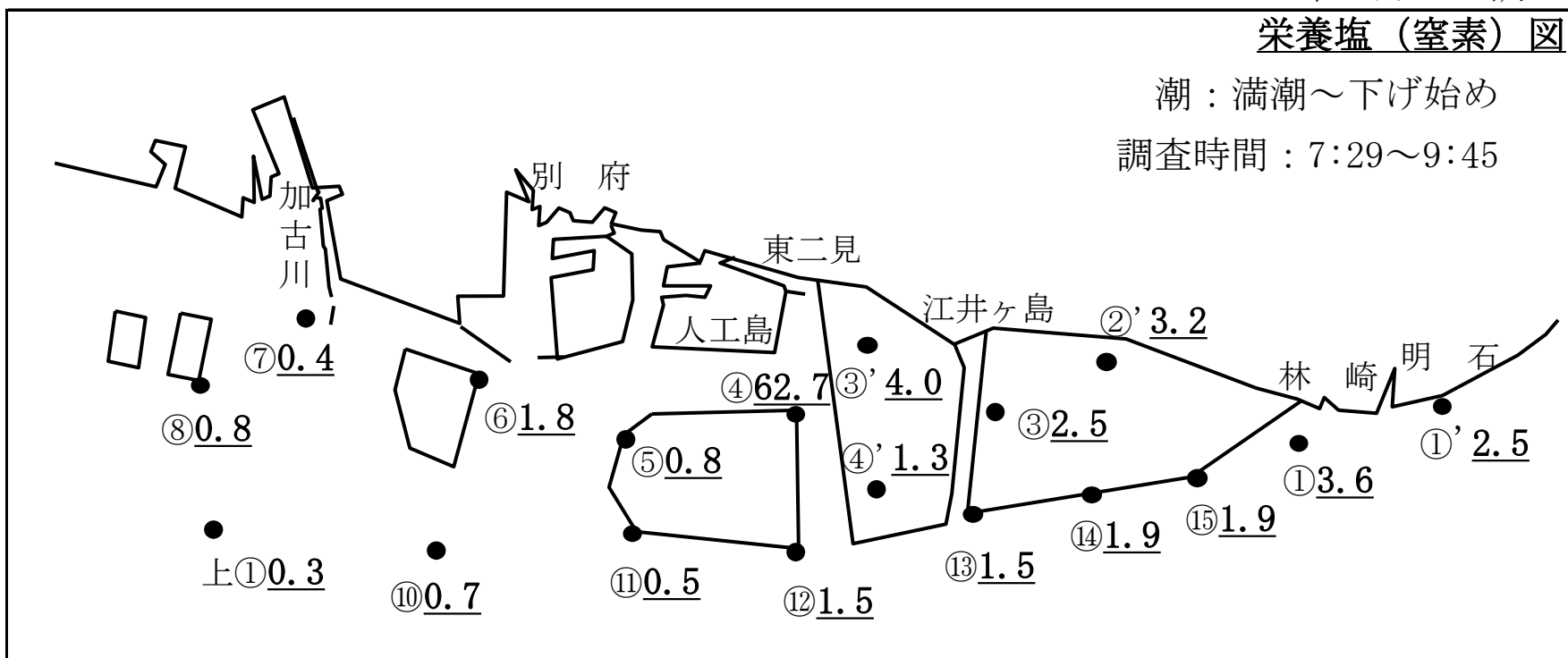
(1/28)

西播地先					
伊保 地	水温	8.8°C	伊保 沖	水温	8.9°C
	窒素	0.6		窒素	0.2
	リン	0.18		リン	0.14
白浜 地	水温	9.2°C	白浜 沖	水温	8.6°C
	窒素	0.3		窒素	0.3
	リン	0.16		リン	0.12

2022年 1月28日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：満潮～下げ始め
 調査時間：7:29～9:45



水温図

